

(5) その他の景観（生活の風景等）

日常生活の中にある風景は、当たり前存在となっていて、普段特に意識されることがないため、その価値に気づきにくいものである。そのため、時代の変化とともにいつのまにか消え失せてしまいがち。

一見何気ない生活の風景にも地域の風習や歴史が溶け込んでいる。渡舟の通勤通学の風景、干し蛸の天日干し風景、地域のまつりの風景など、どの風景も地域の個性を反映している。渡し船は、橋が開通した今でも、市民の足として親しまれ利用されている。

都市開発、橋の開通、農産業の機械化、人口減少・少子高齢化・過疎化は、生活の風景に深くかかわっている。特に祭りや農業漁業の景観のように、これまで人の手によって守られてきたものは、後継者不足から、存続の危機に瀕している。

近年、地域では景観条例等の普及に伴い、日常の風景への意識が高まっている。地域独自の景観選やインスタフォトコンテスト、地元の歴史・地理・文化を学ぶ町散策ツアーや写真撮影会、学校での景観学習の実施、景観アドバイザーやボランティアガイドの養成など、自治体や団体が創意工夫をして住民参加型の催しを行っている。

地域独自の日常生活の風景や祭りのような文化的景観の維持には、法律による施設整備などのハード面での保全はもちろんのこと、住民や民間によるソフト面の連携も欠かせないものである。地域住民の身近な景観に対する意識や愛着を高めることが、景観の保全につながり、後世に引き継いでいくことができるであろう。

瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観の事例のうち生活の風景等に関して収集した結果を図2-5、表2-5-1、2-5-2に示す。



図2-5 その他の景観（生活の風景等）


※湾・瀬の区分は「瀬戸内海環境保全臨時措置法第13条第1項の埋立についての規定の運用に関する基本方針について」に準ずる


表 2-5-1 その他の景観（生活の風景等） 事例一覧


5 その他の景観 (生活の風景等)				分類				紹介根拠							キーワード
				①	②	③	④	A	B	C	D	E	F	G	
府県名	番号	名称	湾・灘名	日常生活	再エネ利用	関係人口による生活	その他	社会的に認知	価値がある	インスタ映えがする	〇〇百選	文化財・重要伝統的建築物	映画等の舞台	その他	
大阪府	①	マールビーチ・タルイザンビーチの夕陽	大阪湾			○					○				日本の夕陽百選
兵庫県	②	相生のペーロン競漕	播磨灘				○	○	○						伝統行事
和歌山県	③	広村堤防	紀伊水道				○		○			○		○	日本遺産「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～
岡山県	④	下津井の干したこ	備讃瀬戸	○				○		○					岡山観光 WEB
	⑤	下津井共同井戸群	備讃瀬戸	○								○			生活や北前船の飲料水として供給された共同井戸
広島県	⑥	渡船通学の風景	備後灘	○										○	瀬戸内らしい通学風景
徳島県	⑦	小鳴門海峡の渡船	紀伊水道・播磨灘				○							○	島に橋がかかった現在でも使用されるほど生活に取り入れられている
香川県	⑧	櫃石ももて祭	備讃瀬戸				○			○	○				まつり
	⑨	瀬居八幡宮の秋大祭(船渡御)	備讃瀬戸				○			○				○	まつり 大漁旗で飾った船に神輿を載せて巡る「船渡御」
福岡県	⑩	浜の宮海岸	周防灘				○				○				県の自然百選
	⑪	吉富漁港 黒松千本植樹	周防灘				○		○						松林復活のため2009年からポランティアによる黒松植林
大分県	⑫	湯けむり景観	伊予灘	○						○	○				21世紀に残したい日本の風景第2位
	⑬	豊後二見ヶ浦大しめ縄張替え	豊後水道				○	○	○	○					


※湾・灘の区分は「瀬戸内海環境保全臨時措置法第13条第1項の埋立についての規定の運用に関する基本方針について」に準ずる


表 2-5-2 その他の景観（生活の風景等）事例


①	マーブルビーチ・タリイサザンビーチの夕陽	湾・灘名	大阪湾
分類	海浜	所在地	大阪府泉南市りんくう南浜
<p>マーブルビーチ・タリイサザンビーチは、岡田浦漁港と樽井漁港に挟まれ、閑空島建設の際に造成された人工の浜であるが、漁業に携わる人々だけでなく、マリンスポーツを楽しむ人々や、釣りを楽しむ人々、毎朝夕のジョギング、ウォーキングなどを楽しむ近隣の人々にとっては欠かせないスポットになっており、その美しさから「日本の夕陽百選」に選定されている。また、閑空島から離着陸する飛行機を、夕陽を背景に撮影できることもあいまって、プロ・アマチュアを問わずカメラマンの人気スポットにもなっている。</p> <p>「夕陽百選」に選定されている事をPRしつつ、景観の大切さを啓発し保全していくために、ポスター・チラシ作成、サンセットフェスタ等の啓発イベント（参加者によるビーチの清掃も実施）を開催している。</p> <p>また、平成30年には、マーブルビーチに「恋人の聖地」ハートモニュメントを設置し、令和2年には、市のPFI事業として、新たに都市公園「泉南りんくう公園（愛称：SENNAN LONG PARK）」を開園し、美しい自然の景観を生かしつつ、レクリエーションゾーンとして再生させ、大阪府、泉南市の新たな集客スポットとしてその魅力を発信している。</p>			
情報源	（情報提供：大阪府）		


②	相生のペーロン競漕	湾・灘名	播磨灘
分類	その他（伝統行事）	所在地	兵庫県相生市
<p>相生ペーロン祭は、播州路に初夏を告げる一大イベントで、毎年5月最終日曜日に相生湾で開催しています。またその前日（土曜日）には、約5000発の花火を打ち上げる豪華な海上花火大会を開催しています。</p> <p>本祭りの海上の部として行われるペーロン競漕は、大正11年に長崎県出身の播磨造船所従業員によって伝えられ、終戦までは毎年5月27日の海軍記念日に同社構内天白神社の例祭として、ボートレースと共に行われてきましたが、この異国情緒あふれるペーロン競漕を絶やすことなく続けたいと、戦後、市・商工会議所・播磨造船所の共催による「相生港まつり」として開催し、また前夜祭として花火大会も行われるようになり、現在の祭りの基礎ができました。</p> <p>昭和37年には市、商工会議所、石川島播磨重工業の三者により「相生ペーロン祭協賛会」を結成し、翌昭和38年からは「相生ペーロン祭」の海上行事として、ドン！デン！ジャン！と、中国特有の銅らと太鼓の音に合わせて力漕する姿は、まさに龍が水面を駆けるように壮観そのもので、盛大に行われています。</p>			
情報源	相生ペーロン協会 HP （情報提供：兵庫県）		


③	広村堤防	湾・灘名	紀伊水道
分類	その他	所在地	和歌山県広川町
<p>安政元年(1854)の津波を受け、濱口梧陵が濱口吉右衛門らの協力を得て築いた長さ約600m、基底の幅約20m、高さ約5mの堤防で、国の史跡として文化財に指定されています。安政2年(1855)2月に着工し、安政5年(1858)12月に完成。沖の突堤、海沿いの石堤と合わせて、多重防御のシステムを構築しています。梧陵は1,572両もの私財を投じ、のべ56,736もの村人を日払いで雇用することで、津波の被害で荒廃した村から人々の離散を食い止めました。昭和21年(1946)の昭和南海地震では、「是れ此の築堤の工を起こして住民百世の安堵を図る所以なり」という梧陵が残した言葉どおり、市街地への津波の流入を防ぎました。</p>			
情報源	広川町日本遺産推進協議会 HP https://hyakusei-no-ando.com/ （情報提供：和歌山県）		


④	下津井の干し蛸	湾・灘名	備讃瀬戸
分類	日常生活	所在地	岡山県倉敷市下津井
<p>倉敷市の南端、瀬戸大橋の麓にある下津井は、江戸時代には北前船の寄港地として大いに賑わいました。漆喰壁に本瓦葺きの町家など、岡山県の「町並み保存地区」に選定された港町独特の町並みが続きます。冬には、全国的にも有名な「下津井ダコ」の足を広げ、寒風に晒す『干しダコ』の姿が見られ、冬の風物詩となっています。</p>			
情報源	倉敷市観光情報発信協議会（倉敷観光WEB） 倉敷市（倉敷市観光パンフレット）岡山県広域水産業再生委員会		（情報提供：岡山県）


⑤	下津井共同井戸群	湾・灘名	備讃瀬戸
分類	日常生活	所在地	岡山県倉敷市
<p>下津井は児島半島南端に位置し、江戸時代を通じて商港・漁港として、また金毘羅往来の発着港として栄えました。 町並みには複数の家で使用する共同井戸があり、杓井戸・寺井戸・鶴井戸・亀井戸と呼ばれています。 これらの井戸は江戸時代以降、下津井に暮らす人々や港へ寄港する船への飲料水として供給されました。</p>			
情報源	倉敷市HP		（情報提供：倉敷市）


⑥	渡船通学の風景（尾道水道）	湾・灘名	備後灘
分類	日常生活	所在地	広島県尾道市
<p>JR 尾道駅のある本土側と幅約 200 メートルの尾道水道を隔てて対岸の向島を結ぶ渡船。 向島の高校生の6割は渡船を利用して通学し、生活に欠かせない渡船となっています。</p>			
情報源	広島県写真DB		（情報提供：広島県）


⑦	小鳴門海峡の渡船	湾・灘名	紀伊水道・播磨灘（小鳴門海峡）
分類	その他（渡船）	所在地	徳島県鳴門市
<p>小鳴門海峡には古くから渡船が運行しており、島に橋が架かった今でも重要な交通手段として、高校生や教育大学へ通う学生、島内の高齢者などが利用している。</p>			
情報源			（情報提供：徳島県）


⑧	櫃石ももて祭 <small>ひついし</small>	湾・灘名	備讃瀬戸
分類	その他（まつり）	所在地	香川県坂出市
<p>ももて祭は、1月中下旬の日曜日に、櫃石島の王子神社で開催される祭りで、香川県指定無形民俗文化財に指定されています。</p> <p>豊漁や五穀豊穡、厄除けや家内安全を祈願しながら11人の射手が的を射ます。</p> <p>弓の的には、他の地域と違って四角形の的が使われます。また、弓の型は“小笠原古流”という型で、少し腰を落として前かがみで弓を射ります。これは波で揺れる船の上から矢を放つ舟合戦の様子を今に伝えるものです。</p>			
情報源	（情報提供：香川県）		

⑨	瀬居八幡宮の秋大祭 <small>（船渡御）</small> <small>せい</small>	湾・灘名	備讃瀬戸
分類	その他（まつり）	所在地	香川県坂出市
<p>番の州工業地帯の埋め立て造成により陸続きとなった瀬居町にある瀬居八幡宮の秋祭りでは、御神輿が漁船に乗って海を渡り、各港を鉦や太鼓を鳴り響かせて、豊漁と海上安全を願って巡行する「船渡御」が9月の最終日曜日に行われます。</p> <p>2隻の漁船を横につなぎ、そこに神輿を乗せ、神輿船の前後には大漁旗で飾った漁船が船団を組んで、瀬居島を一周するように、渡っていきます。昔は、その年に造られた新造船が神輿船に選ばれていたそうです。現在でも、神輿船に選ばれることは、とても名誉なこととされています。</p>			
情報源	https://www.sakaide-kankou.net/events/seihachiman.html （情報提供：香川県）		

⑩	浜の宮海岸	湾・灘名	周防灘
分類	その他（海岸）	所在地	福岡県築上郡築上町大字高塚
<p>豊前海を一望できる絶景が魅力で、福岡県の「自然百選」にも選ばれた樹齢300年以上のクロマツ林が続く浜の宮海岸。</p>			
情報源	築上町ホームページ （情報提供：福岡県）		

⑪	吉富漁港 黒松千本植樹	湾・灘名	周防灘
分類	その他（植樹）	所在地	福岡県築上郡吉富町大字小祝地先
<p>その昔美しい松林があったといわれる吉富海岸に松を復活させようと、2009年、住民ボランティアの手により黒松が千本植えられました。苗木は強い海風を受けながらも1本1本着実に成長しており、古き良き豊かな自然の再生が年々進んでいます。</p>			
情報源	吉富町パンフレット	（情報提供：福岡県）	

⑫	湯けむり景観	湾・灘名	伊予灘
分類	日常生活（温泉）	所在地	大分県別府市
<p>別府市は緑豊かな鶴見連山を背後に抱き、前面には青々とした別府湾を望む、他の都市では見ることの出来ない湯けむりが日々立ち昇る豊かな自然景観を有しています。その数は400を超え、また旅館や貸間など昔ながらの湯治場の形態が今も残っています。</p> <p>平成13年にNHKが実施した「21世紀に残したい日本の風景」で第2位に選ばれたことで、別府ならではの湯けむり景観を守ろうという気運が高まり、鉄輪地区や明礬地区では建築物の形態・意匠・高さ等の制限を行う重点景観計画を策定し、また国の重要文化的景観にも選定されました。</p> <p>市内には、眺めを一望できる湯けむり展望台があり、多くの観光客が訪れています。4月には、別府八湯温泉祭りのイベントの一つである扇山火祭りが行われ、春の到来を告げるとともに地域全体を盛り上げています。</p>			
情報源		（情報提供：大分県）	

⑬	豊後二見ヶ浦大しめ縄張替え	湾・灘名	豊後水道（佐伯湾）
分類	その他（地域固有の風景）	所在地	大分県佐伯市浅海井浦
<p>長さ約65m、重さ約2t、最大直径75cmの巨大しめ縄でしっかりと繋がる夫婦岩「豊後二見ヶ浦」。1994年にギネスブックにて紹介されたこの大しめ縄は、毎年12月に地元の有志が中心となって大しめ縄の張替え作業が行われ、新年を迎える時期の風物詩となっております。元旦には夫婦岩の間から登る初日の出を見ようと地元住民のみならず、県内外からの来訪者でにぎわいます。</p>			
情報源	佐伯市観光大百科	（情報提供：大分県）	